



世界のステージへ!!

第1回目の「世界ジオパークの認定を目指して」に引き続き、今回は「世界文化遺産」登録に向けて取り組みを進めている本市の「明治日本の産業革命遺産」を紹介しします。

Vol.2 世界文化遺産登録に向けて

～鹿児島市の世界へ向けた取り組み～

世界文化遺産とは？

- ◆ 世界遺産とは、ユネスコ総会で採択された世界遺産条約に基づく、国境を越えて人類が共有し、次の世代に受け継いでいくべき遺産のことです
- ◆ そのうち、**世界文化遺産とは、顕著な普遍的価値を有する記念物、建造物群、遺跡(文化的景観を含む)**で、日本では昨年6月に富士山が認定されました

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」とは？

- ◆ 幕末から明治にかけての日本の近代化は、**西洋以外の地域で初めて、かつ極めて短期間に急速な発展を遂げた**という点で、世界史的な価値を有しています
- ◆ **明治日本の産業革命遺産は、そのプロセスを証明する産業遺産群**で、九州・山口など8県11市の資産で構成されています
- ◆ 本市には3つの構成資産があります
- ◆ 今年1月に、政府からユネスコに推薦書が提出されており、平成27年度の世界文化遺産登録を目指しています

本市にある明治日本の産業革命遺産 (3つの構成資産)

鹿児島市のホームページでPR映像など、詳しい情報をご覧ください

①旧集成館(旧集成館機械工場、旧鹿児島紡績所技師館を含む)

旧集成館

島津斉彬が開始した集成館事業の工場群跡

- 反射炉跡 (大砲の砲身を製造)



旧集成館機械工場(現・尚古集成館)

薩英戦争後建設された洋式機械工場で、現存する日本最古の石造工場施設



旧鹿児島紡績所技師館(異人館)

鹿児島紡績所の建設にあわせ技術指導を行った英国人技師の宿舎



③関吉の疎水溝

集成館事業の動力水車などに水を供給するための疎水溝(取水口)

- 約7km離れた集成館まで導水



②寺山炭窯跡

集成館事業の反射炉などの燃料となる白炭を製造した炭窯の跡



明治日本の産業革命遺産の魅力を体感!



ボランティアガイドとめぐる

人情あふれるかごしま



2015年世界遺産登録をめざして…近代化発祥の地、斉彬公の「集成館」を歩く

集合場所	仙巖園入口前	所要時間	1時間30分
参加料	1人500円(中学生以下無料) ※有料施設への入園・入館は別料金		
コース内容	①尚古集成館→②尚古集成館別館→③薩摩切子工場・植林所→④旧鹿児島紡績所技師館(異人館)→⑤造船所跡→⑥鹿児島紡績所跡→仙巖園前(解散)		

～申し込み先～ ★事前予約制

鹿児島まち歩き観光ステーション 電話099-208-4701 FAX 099-208-4703

・電話、FAXでお申込みください(氏名、年齢、参加日、コース、希望時間が必要)

・詳しくは公式ホームページ (<http://kagoshima-machiaruki.jp>) をご覧ください

磯地区は見どころが詰まったエリアです。まるで幕末にタイムスリップしたかのようなおすすめコースですよ!

ボランティアガイド 中原正三さん

